



表題は一緒に歩む男女共同参画をイメージしています

27年度の大崎塾のテーマは「歴史と食文化」

昨年の大崎塾の様子



東北大学川渡農場見学



グループワークの様子

大崎塾とは、講座やフィールドワークなどを通し、地域おこしのための「気づき」発見や企画力・行動力の向上を図りながら、女性の活力を地域づくりへつなげるリーダーを養成する事業です。

昨年は、悠久の時の中で培ってきた豊かな地域資源から、大崎ならではの豊かな暮らしや地域づくりにつながる取り組みを考え、参加者がそれぞれの思いを共有しました。今年度も地域で活躍する講師陣と大人女子の交流が期待されます。

フィールドワークでは、市内の歴史と食文化を探求します。千葉周作ゆかり地の斗瑩稲荷神社や光明寺、吉野作造記念館、有備館等を巡り、昼食は地場産の発酵食をいただきます。また、その土地の食材でその土地の料理法を学ぶ料理教室も行います。知らなかった大崎の魅力を、地域おこしや起業などにつなげられる講座です。

大崎塾は十月から十一月まで4回シリーズで開催します。コーディネーターに頼ゆいネット代表の稲葉雅子さんをお迎えし、みなさんの思いを形にしていきます。詳しい案内は広報おおさき九月号をご覧ください。

リレーコラム

女性だからこそ発揮できる力を

私達、長岡地区婦人会は、40名の会員が地域の行事に積極的に参加しています。

特に婦人会が主体となって行う敬老会は、敬老者の皆さんに喜んでいただけるように、会員が協力し合い、工夫しながら企画しています。また、平成8年から継続をしている老人ホーム寿楽苑でのボランティア活動では、地域の他の団体の方々と一緒に、月一回、洗濯物を畳んだり、繕い物をしたりなど、私達がお役に立てる事を行っています。

近頃は、介護予防に力を入れている長岡公民館の活動の中で、スクエアステップ運動やロコモ体操などに参加し、自分達の健康づくりにも目を向けているところです。

家庭の中では妻として、母としての役割を持ち、地域社会の中においては「人づくり、地域づくり」の役割を担っています。女性らしく、女性だからこそ発揮できる力を、これからも会員の皆さんと共に活かしていこうと考えています。



スクエアステップの様子

古川地域婦人団体連絡協議会 副会長 木村洋子



地域で輝く女性たちを紹介します

諏訪中区大崎市行政区長

田原喜久子さん

区長の業務は、住民の要望や請願、陳情などの住民と行政との調整的役割、行政に係わる各種文章等の配布、回覧、掲示等による住民への周知、道路・橋梁・側溝・排水路・その他の市民の安全に関わる情報提供、災害時の被害状況の調査報告、各種委員の推薦など様々で、行政区の推薦に基づき市長が委嘱しています。162行政区ある古川地域の区長の中で、紅一点で輝く女性は、田原喜久子（たはらきくこ）さん。



まちづくり協議会の様子

行政各般にわたり円滑に運営を図り、諏訪中区421世帯の福祉向上に寄与されています。

「女性が区長業務を務めるということは、地域の方々を始め、家族の理解と協力があつてのこと。“今できることを今やる”をモットーに頑張っています」と笑顔で語る田原さんは、古川まちづくり協議会の副会長や、古川の街づくりをすすめる女性の会の代表を務めるパワフルな女性。冷静な判断力と礼儀正しさ、そしていつもの素敵な笑顔から作られる柔らかな雰囲気、今日も地域の安全を見守っていました。

被災地におけるDV予防啓発講座

女性への暴力や家庭内暴力が大きな問題となっている昨今、DV（ドメスティック・バイオレンス）についての解決・回復にむけての理解を深めるため、7月15日（金）に『DVと離婚—離婚を考えたとき』をテーマに、DV予防啓発講座が県大崎合同庁舎で開催されました。

弁護士佐藤由紀子氏を講師にお招きし、DV問題から離婚へと進む経緯などについて、事例を交えながら講話をいただき、まずは、「自分の身の安全を確保すること」が大切だと理解する機会となりました。参加された方々からは、「知識だけでなく、事例をもとに問題点や解決法等が分かりやすかった」、「様々な角度から考えることができた」、「DVと離婚についての理解が深まった」など貴重なご意見・ご感想が寄せられていました。



次回のご案内：「DV被害からの回復とフェミニストカウンセリング」



11月18日（水）10時～12時

県大崎合同庁舎501・502会議室

どなたでも参加できます。この機会にDV・フェミニストカウンセリングについて学んでみませんか。

おおさき男女共同参画推進ニュース『With』では、みなさんのご意見・感想・情報をお待ちしております。
大崎市市民協働推進部まちづくり推進課 男女共同参画推進室 電話 23-5069